

石教研 音楽部会 北広島 研究授業 授業検討について

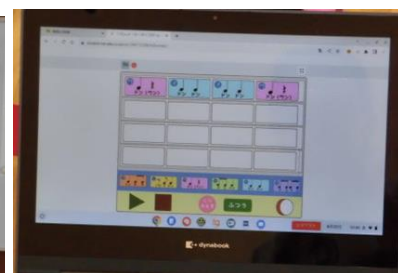
北広島市立双葉小学校 松本

授業者：北広島市私立大曲東小学校 菅野 洋美先生

題材名：「おまつりの音楽をつくろう」

1、事後研究にて 8月29日(水) 13:30～ 10名出席

本来は、8月24日(木)5時間目の実施予定で広教研の先生方も授業を見ることになっていましたが、緊急の市内一斉午前授業になったため、大曲東小学校の先生方でビデオをとって頂き、事後研究でビデオを見ながら話し合いを行いました。



【授業者から】

- ①グループの中で誰がどこの部分を叩くかまでを前時に決めておいて、4時間目は練習するところから開始すると、もっとたくさんのグループ発表までできた。
- ②練習途中でも順番が変わってもよいので、「まずは1曲通して叩いてみよう」と教師側で曲を流して練習する時間を取るべきだった。

【事後研究の内容】

- ①3時間から「リズムメーカータイコ」を chromebook で使い事前に準備をしていた。
※予定では、ホワイトボードを個人思考の道具として利用することになっていたが、「リズムメーカータイコ」を活用することで低学年には有効であった。
- ②導入の流れはスムーズであった。
- ③グループの練習に入るための教師の説明が長かった。前時に班長の chromebook の中にリズムを入れて一台で練習させると、練習がスムーズにできた。
- ④順番がなかなか決まらず、叩く練習が少ないグループがあった。
- ⑤発表と同じ流れでできるように机が2つあるとよかった。
- ⑥グループ練習の時、子供たち同士で歌を歌いながらリズム打ちを取り組んでいたのはよかった。
- ⑦「和太鼓をたたく」という行為は、低学年にとってはハードルが高かった。和太鼓がなくても、和太鼓を叩かなくても、各班で考えたリズムに合わせて、みんなで歌う流れでも十分だった。
- ⑧全グループの発表予定だったが、時間が足りず2グループだけとなってしまった。
- ⑨暑い中の活動だったが、子供たちは、自分の考えたリズムを曲に合わせようと意欲的に練習していた。

石教研 音楽部会 北広島 研究授業 授業検討について

北広島市立西の里小学校 岸本

授業者：北広島市立大曲東小学校 菅野 洋美先生

題材名：「おまつりの音楽をつくろう」

1、事前研究にて 6月13日(火)15:00- 8名出席

【授業者から】

- ①おまつりのリズムを感じ、楽しくリズムを作る活動をさせたい。
- ②できれば、和太鼓の楽器などに触れ、リズムうちの楽しさを味わわせたい。

【検討内容】

- ①4人ずつの7班構成で、みんなが生き生きと活動できる授業の展開を考えたい。
- ②話し合い活動を取り入れて、みんなの意見からリズムを完成させるような授業の構成にしてはどうか。
- ③前時の「いろいろなたいこの音を楽しもう」の鑑賞を通して、様々な太鼓の演奏のDVDを見せて、お祭りのリズムを感じさせたい。
→この時間で、聞き取ったリズムをカードにしておくといよい。
- ④お祭りの雰囲気を感じさせられるような演出もあると楽しいかもしれない。
- ⑤音楽ランド「おまつりわっしょい」を十分に習得したうえで、作ったお祭りのリズムを曲にのせて演奏するのがよい。
- ⑥おまつりのリズムを一人4小節ずつ考える。自分の考えたリズムはどの部分にあっているのか班ごとに話し合う。4人班で「おまつりわっしょい」の16小節を完成させて発表する。
- ⑦小さいホワイトボードを用意して、個人思考の道具として利用させたい。

第2学年音楽科学習指導案

日時 2023年8月24日(木)

場所 体育館

児童 大曲東小学校 2年1組 29名

指導者 菅野 洋美

1. 題材名 『おまつりの音楽をつくろう』

2. 題材の目標

- 太鼓の音やリズムのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどとかかわらせて気づくとともに、思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽を作る技能を身につける。
- リズムを聞き取り、その働きが生み出す良さや面白さを感じ取りながら、聞き取ったことと聞き取ったことの関わりについて考え、簡単なリズムを作ることを通して音楽づくりの発想を得て、どのように音を音楽にしていくかについて思いをもつ。
- 太鼓のリズムをもとに音楽を作ることに興味を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、和太鼓による音楽を楽しむ。

3. 題材の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
・太鼓の音やリズムのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどとかかわらせて気づくとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聞いて、声を合わせて歌う技能を身につける。	・音色やリズムを聞き取り、それらの働きが生み出す良さや面白さを感じ取りながら、聞き取ったことと聞き取ったことの関わりについて考え、簡単なリズムを作ることを通して音楽づくりの発想を得たりどのように音を音楽にしていくかについて、思いを持ったりする。	・太鼓のリズムをもとに音楽を作ることに興味を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習活動に取り組み、和太鼓による音楽に親しむ。

4. 指導計画と評価計画(4時間扱い)

時数	指導内容	観点別具体的評価基準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
1	○色々なリズム打ちの練習。 ・友達が作ったリズムを手拍子で打つ、バチを使って打つ練習をする。 ○「おまつりワッショイ」の範唱を聞いて曲を感じ、曲が2つの部分からできていること、か	バチの使い方を知る。 「おまつりワッショイ」の曲想を感じながら、歌うことができる		

	<p>け声があることなどを理解して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> • どんなどころがお祭りらしいか、交流し合う。 • 伴奏に合わせて歌う練習をする。 			
2	<p>○色々な地域のお祭りに使われる曲を聴き、お祭りで使われる色々なリズムに気づく。</p> <p>○聞いたリズムが、音符で表わせるとどうなるか、リズムカードで示し、確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 提示したリズムカードを見ながら、何度も唱える、またパチでリズム打ちを練習する。 		<p>音色やリズムを聞き取り、それらの働きが生み出す良さや面白さを感じ取ることができる。</p>	
3	<p>○前時の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> • 前時で知った色々なリズム打ちの練習をする。 <p>○「おまつりワッショイ」の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 全員が同じリズムを叩きながら、歌う練習をする。 <p>○「おまつりわっしょい」に合いそうな自分のリズムを4小節考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 数種類のリズムカードの中から選んで、4小節のリズムを作る。 	<p>「おまつりワッショイ」の曲想に合ったリズムをリズムカードから選んで作ることができる。</p>	<p>簡単なリズムを作ることを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくかについて、思いをもったりする。</p>	<p>音楽を作ることに興味を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>
4 (本時)	<p>○4人グループで自分が考えたリズムを紹介し合い、曲のどのパートを誰が担当するか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 曲を聞きながら、担当場所を決め、グループ練習をする。 <p>○グループごとに発表する。</p> <p>中間発表会</p>		<p>簡単なリズムを作ることを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくかについて、思いをもったりする。</p>	<p>音楽を作ることに興味を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>

5	<p>○各グループで前時の発表を見直し、曲の終わり方やかけ声を工夫するための話し合いを行う。</p> <p>○グループごとに発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達への演奏を聞いて気づいたことを交流し合う。 			<p>音楽を作ることに興味を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。</p>
---	--	--	--	---

5. 教材名 「おまつりワッショイ」

6. 教材観

「おまつりワッショイ」は、2/4 拍子 A (aa') B (bb') の二部形式。言葉のリズムと響きの特徴を生かして、お祭りの雰囲気を感じられるように歌わせたい。また今まで学習した色々な長さの音符も使いながら、祭りの曲想に合うようなリズム創作の楽しさを体感させたい。

7. 共通事項との関わり

本教材では、共通事項の中から、ア「リズムと拍」について、重点的に取り扱う。

8. 児童の実態

今まで学習してきた「こいぬのピンゴ」や「びよんびよこロックンロール」などの歌に合わせてみんなで身体表現をしたり、リズムで遊んだりすることを喜び、意欲的に活動する児童が多い。

9. 本時の目標

「おまつりワッショイ」の曲に合わせた太鼓のリズムを作り、打つことができる。

10. 本時の展開 (4/5)

	学習内容	教師の関わりと評価基準・具体的評価方法 ☆共通事項を知覚・感受するための手立て ※指導の留意点 △目標に達していない児童への支援 □具体的評価基準【 】評価方法
導入	1, リズムあそび 2, 前時の振り返り ・「おまつりワッショイ」を歌う	☆前時までに出てきた太鼓のリズムを教師と児童とでバチで叩いて確認する。 ※一人ひとりのバチは、新聞紙を丸めたもの。

	3, 本時の学習課題を知る。	
	㊦ 「おまつりワッショイ」にあうように、グループでたいこのリズムを考えよう。	
展 開	4, 一人ひとりが考えたリズムの順番をグループの中で聞かせ合う。 5, 曲に合うように、誰が曲のどのフレーズを担当するか、話し合っ て練習する。 6, 中間発表をする。 作り終わったグループから発表す る。	☆「おまつりワッショイ」の曲は、4小節ずつ4つのパートに分けられること、かけ声があることを全体で再確認する。 歌のリズムやかけ声の部分などを考えながら太鼓のリズムを組み合わせていくことを伝える。 ※リズムがうまく打てない児童には、同じグループの中で教え合うよう伝える。 ※動きが見えるように、向かい合ってリズム打ちをする。 <input type="checkbox"/> 話し合いに参加し、進んで表現しようとしているか。 【グループ活動の様子】 <input type="checkbox"/> 一人ひとりの曲想や歌詞などからイメージしたリズムをうまく組み合わせて、楽しく表現しようとしているか。 【グループ練習の様子】
ま と め	7, 学習のまとめ、振り返り ・学習の感想を書く。	※グループのよさや頑張りを認める声かけをする。 ※次時は、友達のアドバイスや他のグループの発表から学んだことを生かし、曲の終わり方などを工夫して太鼓のリズムを完成させることを伝える。

11, 本時の評価

「おまつりワッショイ」の曲に合わせた太鼓のリズムを作り、打つことができたか。

か 「おまつりワッショイ」にあうように、グループでたいこのリズムをつくろう！

①じぶんが考えた たいこのリズムを書こう。

ドゾドゾ ドコドソ ドンダン ウドドン

②考えたリズムを パチでたたけるように れんしゅうしよう。

③だれのリズムが、どのぶぶんにあうか考えて、じゅんばんをきめよう。

1 うず 2 まさき 3 おうた 4 ひまり

④グループれんしゅうをしよう。

⑤グループのリズムを みんなのうたと あわせてみよう。

⑥リズムづくりをして気づいたこと、わかったこと、思ったことなどを
書きましょう。

自分で作ったリズムをうたに
あわせて、だれが1、2、3、4、
になることをきとうにきめてはい
けなんだなとわかりました。

またやりたいです

か 「おまつりワッショイ」にあうように、グループでたいこのリズムをつくろう！

①じぶんが考えた たいこのリズムを書こう。

ドンカカ ドムウフ ドコドン ドコドコ

②考えたリズムを パチでたたけるように れんしゅうしよう。

③だれのリズムが、どのぶぶんにあうか考えて、じゅんばんをきめよう。

1 こうち 2 えま 3 ゆい 4 えら

④グループれんしゅうをしよう。

⑤グループのリズムを みんなのうたと あわせてみよう。

⑥リズムづくりをして気づいたこと、わかったこと、思ったことなどを
書きましょう。

さいしは、たいこを1、2、3、4、
のは、かんたんだとおもってまし
たが、いっさいやってみると
むずかしかったです。

か 「おまつりワッショイ」にあうように、グループでたいこのリズムをつくろう！

①じぶんが考えた たいこのリズムを書こう。

ドンドン ドコドコ ドツカカ ドン

②考えたリズムを パチでたたけるように れんしゅうしよう。

③だれのリズムが、どのぶぶんにあうか考えて、じゅんばんをきめよう。

1 主なとくん 2 ひかる_る + ちん_{ちん} 4 ひまり

④グループれんしゅうをしよう。

⑤グループのリズムを みんなのうたと あわせてみよう。

⑥リズムづくりをして気づいたこと、わかったこと、思ったことなどを
書きましょう。

リズムにあわせるのが
むずかしいとわかりました。
みんなで作るのが
すてきです。つぎもやりたい
です。

おまつりワッショイ

か 「おまつりワッショイ」にあうように、グループでたいこのリズムをつくろう！

①じぶんが考えた たいこのリズムを書こう。

ドツカカ ドンドン ドコドツ ドンドン

②考えたリズムを パチでたたけるように れんしゅうしよう。

③だれのリズムが、どのぶぶんにあうか考えて、じゅんばんをきめよう。

1 _____ 2 _____ 3 _____ 4 _____

④グループれんしゅうをしよう。

⑤グループのリズムを みんなのうたと あわせてみよう。

⑥リズムづくりをして気づいたこと、わかったこと、思ったことなどを
書きましょう。

ほくたちとちがう
リズムがあつてびっくり
しました。

広教研音楽部会中学校研究授業

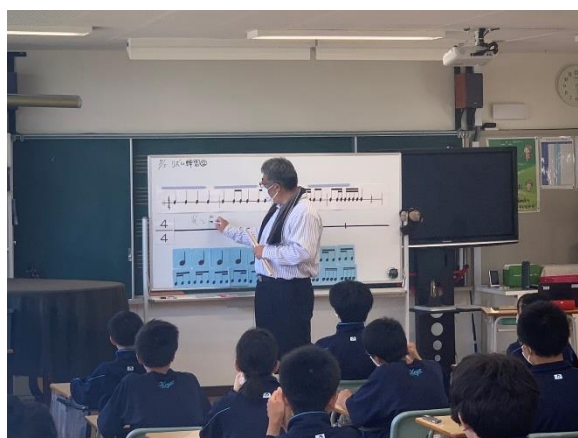
日時 2023年7月5日(水)
授業者 北広島市立広葉中学校 大城 裕貴先生
生徒 1年1組 30名
題材名 リズム創作 「オリジナルのリズムを考えよう」

【授業者から】

コロナ禍で歌唱や器楽の授業ができない間、どんな授業ができるかと教材研究を行った。その中で3年間を通して段階的にリズム学習に力を入れることにした。そのための基礎を1年生では創作活動として取り入れ、人前で演奏することへの抵抗力を付けさせ、新しい楽器に挑戦させている。

今回扱った「炎と森のカーニバル」は2014年の楽曲で、生徒が4～5歳ぐらいではあったが、意欲的に取り組んでいた。創作20分、交流15分ではあったがどうしても説明などに時間がかかってしまったので調整が必要だと感じた。創作活動には20分は必要。時間が足りなくてももう少し工夫したいと感じた生徒も多かった。

創作の授業に長い時間をかける余裕がないので3時間から3時間半をめどに進めたいと考えている。子供たちも楽しく、意欲的に取り組んでいたので来年、再来年とつなげていきたい。



【話し合いから】

- 指導案検討の時に同じことをやらせてもらったが、難しかった。1時間リズム練習をして、楽譜に書いて生徒たちはよく頑張っていたのではないと思う。
- 大城先生は昔から教材に工夫をし(手作りのものが素晴らしくて楽しい)、生徒たちの興味を惹くものを考えていた。今回も生徒たちは意欲的に取り組んでいたし、一生懸命だった。
- ホワイトボードにもリズムを掲示し、取り組みやすいように工夫していたが、いざ楽譜に記入すると難しさを感じている生徒もいたので、机間巡視などをしながら適切な指導をすることも大切だ。

令和5年度 広教研 1 学年音楽科指導案

日 時 令和5年7月5日(水) 5校時
 教 室 音楽室
 生 徒 1年1組 30名
 指導者 大城 裕貴

1 単元名

リズム創作「オリジナルのリズムを考えよう」

2 教科の見方・考え方

音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと関連付けること

3 生徒（音楽活動）の実態

本校の1年生は好奇心が強く、何事にも興味関心が高い。ピアノを習っている生徒も多いが全く楽譜を読めない生徒も多数おり、音楽的な知識に関しては両極端である。また、コロナ禍により実技活動がほとんど行われておらず、合唱に関しては今後本格的に進めていく。

本校では3年間を通して段階的にリズム学習に力を入れている。1年生から基本的なリズムを学習し、3年生では簡単な8ビートのドラム演奏を全員にさせている。そのための基礎を1年生では創作活動として取り入れ、人前で演奏することへの抵抗力を付けさせ、新しい楽器に挑戦させている。本格的な実施の2年目ではあるが、生徒たちが積極的に取り組む教材だと感じている。

4 単元目標と指導計画

【単元の目標】

- 知識・技能
 - (1) 基本的なリズムについて理解し、スネアを叩くための技能を身に付けている。
 - (2) 曲想や音楽の構成を考えながら、基礎的なリズムを演奏することができている。
- 思考・判断・表現
 - (1) 基本のリズムに関して、基礎練習を生かした表現ができている。
 - (2) 創作に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい表現を創意工夫している。
- 主体的に学習に取り組む態度
 - (1) 基本的なリズムに関する知識や技能を得たり生かしたりしながら、学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。
 - (2) 創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。

【指導計画と評価計画】 3時間扱い

時	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	◆いろいろなリズムを叩いてみよう。 一斉 個別 ○基本リズムの練習 【共通事項】リズム ※プリント①	・基本姿勢で正しく演奏することができたか。	・リズムの特徴を知り、正確に叩けるよう、練習したか。	
2 本時	◆工夫しながらリズムを考えよう。 一斉 個別 協働 【共通事項】リズム ※プリント②	・課題を理解し、創作することができたか。	・班の人の演奏を参考に、自分の演奏に生かすことができたか。	・班活動などを通じて、創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組もうとしていたか。
3	◆演奏発表会 個別 協働 ◆確認テスト① ※プリント③	・基本的な技能を生かし、曲に合わせて、演奏することができたか。	・表現力豊かに演奏していたか。	・自分とくらべて相互比較をすることができたか。

5 本時の目標

【知識・技能】 課題を理解し、創作することができる。

【思考・判断・表現】 班の人の演奏を参考に、自分の演奏に生かすことができる。

【主体的に学習に取り組む態度】 練習を通して、向上心を持って取り組むことができる。

6 本時の展開（2/3）

過程	主な学習活動 (予想される生徒の発言等)	教師の主な働きかけ	■評価規準 □評価方法 ▲努力を要すると判断される 生徒への手立て
導入 (8分)	<input type="checkbox"/> 自己評価表記入 <input type="checkbox"/> 前回のリズムを練習 一斉 (曲付き：炎と森のカーニバル)	★プリント配布 <input type="checkbox"/> 全体に指導・確認 <input type="checkbox"/> 音楽に合っているか確認	▲課題ができているかを確認
<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;"> 課題 工夫してリズムを考え、演奏しよう！ </div>			
展開 (37分)	<input type="checkbox"/> 続きの4小節のリズムを創作(23) ①個人で楽譜を作成 個別 ②今まで教わったリズムを使う ③できたら、実技練習 <input type="checkbox"/> 班で交流(12) ①各ブースに移動し、順に演奏。 (伴奏にはクロムを使う) 協働 ②気が付いた点を発表し交流する。 ③交流後、代表者を決める。 ④時間が余ったら、個人練習。 <input type="checkbox"/> 班の代表者に演奏してもらう。(2) (時間の関係で2人くらい)	<input type="checkbox"/> リズムパターンは掲示 <input type="checkbox"/> 時間を見て、個人練習を促す <input type="checkbox"/> 巡視し指導・助言 <input type="checkbox"/> 班に1台クロムを使用。 前奏を流し、一人ずつ演奏。その後、気付いた点を交流。動きが悪いところは助言する。 <input type="checkbox"/> 時間があれば班の代表者に演奏してもらう。	■課題を理解し創作し、作品を演奏することができる 【知・技】プリント ▲楽譜がかけていない人への支援 ■アドバイスを参考に演奏に生かすことができた 【思・判・表】実技 ■向上心をもって取り組んだ 【主】実技
<div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; display: inline-block;"> 確認 自分の作ったリズムを演奏することができた。 </div>			
まとめ (5分)	<input type="checkbox"/> 本時のまとめを踏まえ、自己評価表を記入	<input type="checkbox"/> 振り返りシートに本時の反省と次の自分なりの課題を記入する <input type="checkbox"/> 次時の予告	■自己評価を確認し、評価【主】 <input type="checkbox"/> プリント提出

7 本時の評価

【知識・技能】 課題を理解し、創作することができたか。

【思考・判断・表現】 班の人の演奏を参考に、自分の演奏に生かすことができる。

【主体的に学習に取り組む態度】 練習を通して、向上心を持って取り組むことができたか。

8 今回使用した教材・資料

- ・スティック
- ・演奏用パット
- ・クロム（班に1台）
- ・SEKAINOOWARIの「炎と森のカーニバル」の冒頭の音源（クロムで配信）

9 ワークシート

★プリント①

ワークシート①「基本リズムの練習」

1年 組 番 名前 _____

課題 「スティックでいろいろなリズムを叩く」

1. スティックの持ち方
 右手は器のように、スティックの1/3あたりを親指の腹と、人差し指の第1〜第2関節の間でしっかり握ります。残り3本の指はスティックに添えるように覆ります。
 バランスポイントは、スティックの形状によって若干異なるので、右図のようにバウンドさせて弾みの良いポイントを探します。



2. 叩くところは？
 右の図のように、板の中心のゴムの右の部分だけを叩いて叩きます。はみ出ると雑音になりますので、見ないでも叩けるように練習してください。



3. 基本練習をしよう
 楽譜では右手がR、左手がLと指定されていることがありますが、基本的にどちらの手で演奏してもかまいません。ただし、細かい音符の時は左右交互に繰り返し演奏するほうが楽です。

それでは練習してみましょう。

例: R L R L R L R L



①

メトロノーム100の速さで叩けるようにやってみましょう。ゴムの部分を叩いていますか？

それでは、同じリズムでも、左右が変わると次のようになります。

R R L L R R L L



②

R R R L R R R L



③

ちょっとしたことで、やややすかったりやりづらかったりするのですが、わかりますか？
 利き腕によっても変わってきます。それでは実践編に移ります。

4. いろいろなリズムに挑戦
 基本的なリズムをかきました。次のリズムを30の速さで繰り返し叩けるように練習。

① R L R L R L R L



② R R L R R L R R L R R L



③ R L



④ R L R L



⑤ R R L R R L



⑥ R L R L R L



⑦ R L R L L R L L R R L R L L R L L R



.....

★それでは本日の最後の課題★ (100の速さで)




見ないでも叩けるように、練習！！

★プリント②

ワークシート② 「工夫しながらリズムを考えよう」


1年 組 名前 _____

(1) 前回の課題を「曲に合わせてやってみよう」 曲は「 _____ 」です。

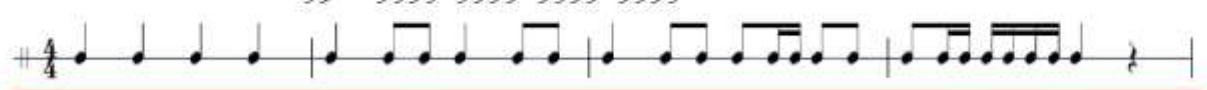



(2) 「工夫してリズムを考えよう」 今まで練習したリズムを使って、**続きの4小節**を完成させましょう。
 工夫しながら自分ができるリズムを考えて作ります。完成したら個人で実技練習です。

【練習したリズム】



タン タッタッ タタタ タッタ タタタ

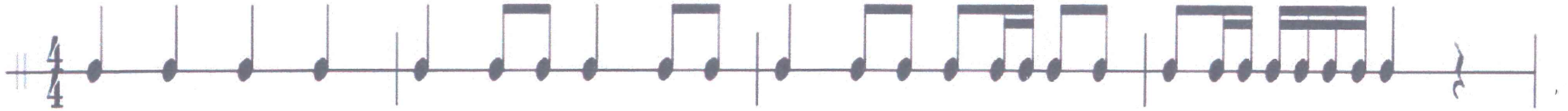




(3) 「グループ交流」(ブースで演奏して交流)
 他の人の演奏をきいて気が付いたこと

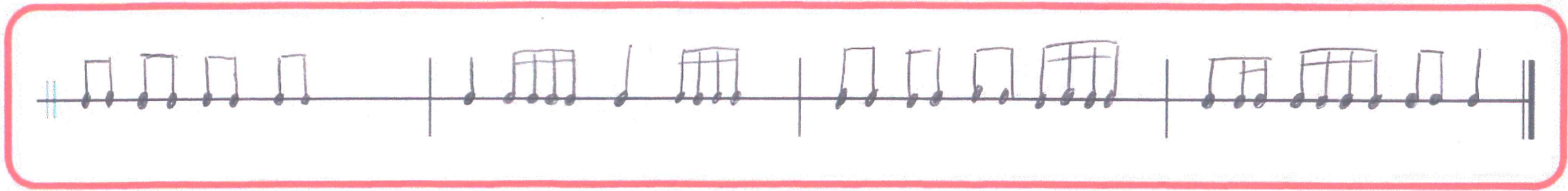
(4) 「自己評価」(今日の授業の感想)

(1) 前回の課題を「曲に合わせてやってみよう」 曲は「炎と森のカーニバル」です。



(2) 「**工夫してリズムを考えよう**」 今まで練習したリズムを使って、**続きの4小節**を完成させましょう。
工夫しながら自分ができるリズムを考えて作ります。 完成したら個人で実技練習です。

【練習したリズム】



(3) 「**グループ交流**」 (ブースで演奏して交流)

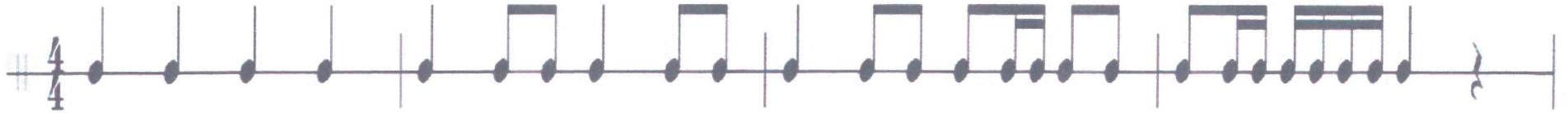
他の人の演奏をきいて気が付いたこと

リズムがみんなちがっていて、テンポがはやいや、おそいや、いろんな人がいた。おもしろいリズムの人もいた。

(4) 「**自己評価**」 (今日の授業の感想)

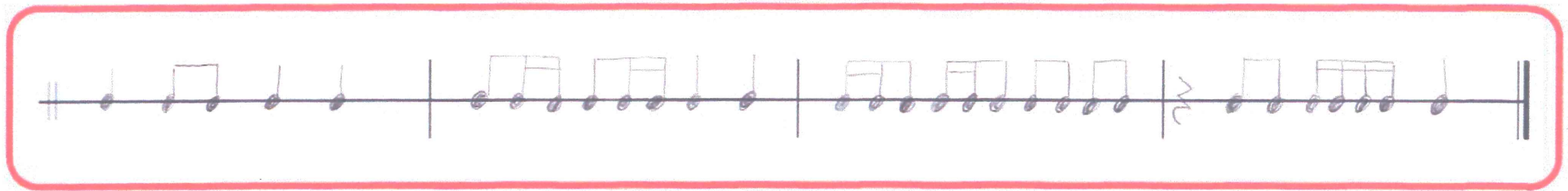
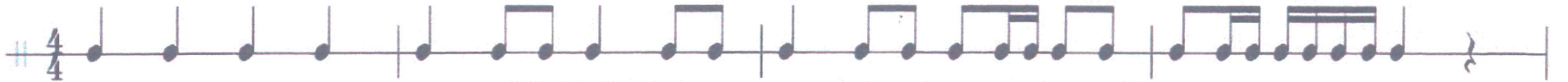
自分の好きなリズムでまた「未完成」だったが、たのしくつくることができてよかった。

(1) 前回の課題を「曲に合わせてやってみよう」 曲は「炎と森のカーニバル」です。



(2) 「工夫してリズムを考えよう」 今まで練習したリズムを使って、**続きの4小節**を完成させましょう。
工夫しながら自分ができるリズムを考えて作ります。完成したら個人で実技練習です。

【練習したリズム】



(3) 「グループ交流」(ブースで演奏して交流)

他の人の演奏をきいて気が付いたこと

自分とは違った色々なリズムがあって、
どのリズムも曲に合っていていいと思った。

(4) 「自己評価」(今日の授業の感想)

音楽をきちんと聞いて、テンポが速くならない
ようにリズムを打つことができた。
最後が少し難しかったけど上手くできた。